

## AED設置状況と今後の設置予定は



石井康二議員

Kouji Ishii

**答弁** 休日や夜間の必要性を考え、今後検討します

**問** 町が設置しているAED(\*6)の台数と場所について伺います。

**答** 設置台数は24台で、小・中学校や保育所、役場庁舎のほか、人が集まる公共施設に設置してあります。

**問** 町(行政)関係でAEDの講習会は年間何回開催していますか。

**答** 年度により回数は異なりますが、小・中学校や体育協会などで、毎年10回程度は実施しています。また、地域の自主防災組織においても、20回程度実施しています。

### 町内コンビニにAED設置を

**問** 24時間営業のコンビニにAEDの設置をお願い、町民に貸し出したらいかがでしょうか。コンビニに設置をお願いした場合、町内の店舗数と事業費について、また設置する考えがあるか伺います。

**答** 町内にはコンビニが14店舗あり、1店舗1台として14台をリースした場合、町で契約している1事業者のリース料で算定すると年間およそ89万円となります。なお、コンビニへの設置については、休日や夜間での利用の必要性を考慮しながら、今後検討していきます。

**問** 県内では、熊谷市を初め5市でこの事業を実施しています。寄居町で行えば町村では初めての実施となりますが、どう考えますか。

**答** 安心・安全のために来年度予算にのせることができるか検討していきたいと思えます。

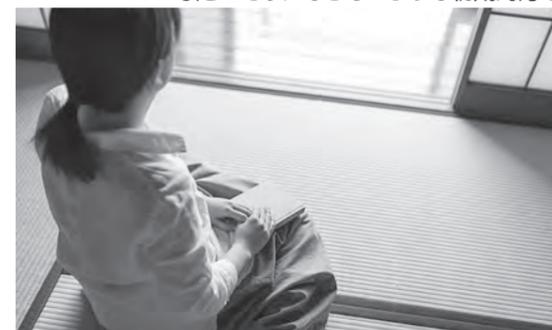


熊谷市・三郷市などはコンビニに設置

## AED設置



引きこもりにならないような初期対応を



## 社会復帰支援



**問** 厚労省による平成27年8月の調査で、引きこもりは約26万世帯に上るとの推計が出されています。当事者や家族だけでなく、地域活性化のためにも重要な問題です。当町の引きこもり世帯数と現状の対応について伺います。

**答** 引きこもり世帯数は把握していません。相談は今までありませんでしたが、あった場合は保健所等の関係機関に紹介します。

**問** 不登校から長期の引きこもりに移行するケースが一定割合あると言われていますが相談体制について伺います。

**答** 登校を渋る初期の段階で教員による相談支援、学校への復帰を目指すための適応指導教室での支援につなげます。

### 引きこもりの予防策、相談は

**問** 精神障害や、認知症から移行する前の段階での予防策について伺います。

**答** 今後、鬱チェックのための「こころの体温計」、認知症スクリーニングテストの導入を検討していきます。

**問** 障害者交流センターで、引きこもりに特化した相談窓口設置について伺います。

**答** 引きこもりに特化した相談窓口の開設は、現段階では考えていません。

**問** 生活困窮者自立支援制度の窓口となるアスポーツ相談センターとの連携について伺います。

**答** 27年4月より県北地区の窓口として、当町の社協内に設置され相談を受け付けています。現在連携件数は14世帯19件となっています。

### 引きこもり相談、明確な支援窓口を



鈴木詠子議員

Eiko Suzuki

**答弁** 特化した相談窓口は考えていません

## 学校給食の段階的な無料化の見通しは



岡本安明議員

Yasuaki Okamoto

**答弁** 第3子以降の無料化に向け検討しています

**問** 学校給食の段階的な無料化について伺います。

**答** 第3子以降の学校給食費の無料化について、28年度実施に向け検討しています。

**問** 町立小学校6校へのエアコン設置の見通しについて伺います。

**答** 全小学校へのエアコン設置については、国の補助制度を活用すべく、国へ事業計画を提出していますが、早期に設置できるよう努力していきます。

### 見守り活動放送の内容は

**問** 子どもたちの下校時における見守り活動の放送について、開始時期いつまで継続するのか伺います。

**答** 当町及び近隣の市町で事件・事故が発生したときに、当町の子どもたちの安全を確保するため一定期間放送しています。

**問** 下校時に流しているのは防犯のためですが、例えば凶悪犯人が近隣を逃走中であるとか、変質者が出没し、子どもが被害にあいそうになったなどの緊急時に、防災無線をリアルタイムに流していただけるか伺います。

**答** 防災無線の放送対象は、要綱等で①地震、火災等の非常事態に関する事、②人命救助など緊急を要することなど定められています。緊急を要する事項については、できるだけ早く町の皆さんにお伝えしようと考えています。

**問** 各小学校の登下校時の見守り活動状況を伺います。

**答** 町内いずれの小学校でも地域の方々のご協力をいただきながら、登下校時の見守り活動を行っています。



給食センターでは1日当たり約2700食を調理

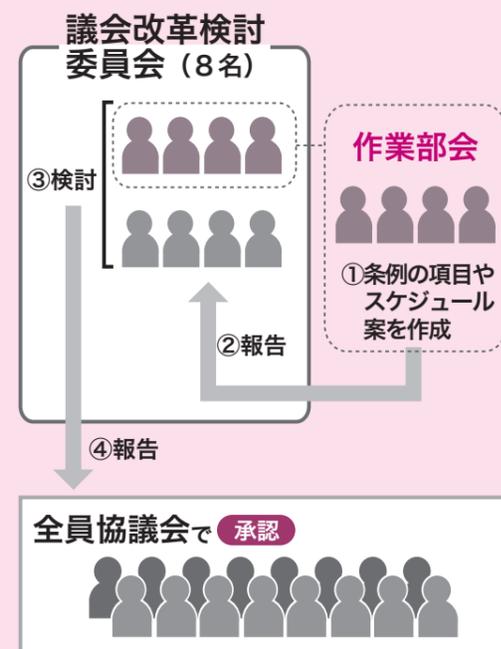
## 教育振興



# 議会改革

議会基本条例(\*7)

時間をかけて“実のある条例”を目指す



①～④を繰り返して

平成29年1月 原案完成

※専門家を招く研修会や先進地視察も行う計画です

条例制定まで約2年かかることに対して長いと思われるかもしれませんが、手続きや段階を経て、共通理解を深めるには必要な時間と考えています。議会改革検討委員会では、実のある条例とするため、議員の意識向上も含めて、時間をかけて検討を続けることとし、議員全員協議会です承を得ました。

### 今号の表紙



「18歳選挙権」の特集で座談会に参加した寄居城北高校の5人は、投票箱を見るのも初めて。この夏の選挙をイメージしながら、模擬投票をしました。

**ことば** (\*7) 議会基本条例…地方議会運営の基本原則を定めた条例。これまでの地方議会のあり方を見直し、活発な議論の促進や開かれた議会づくりを目的としています。2006年、全国に先駆けて北海道栗山町が制定し、その後全国に広がっています。

**ことば** (\*6) AED…自動体外式除細動器のこと。心臓停止傷病者の心電図を自動解析し、電気ショックが必要な場合に音声等の指示で電気ショックを与えることができる医療機器です。現在寄居町では、総合体育館、小中学校などに設置してあります。